

この町で素敵な「^{ミライ}未来」を描く方をご紹介します。



白鷹町立蚕桑小学校 教諭
鈴木^{すずき} 里彩^{りさ}さん（荒砥甲在住）

「この町が大好き！」という思いを
子どもたちの心に育んでいきたい。



鈴木さんが教師を目指すきっかけとなったのが、小・中学校で出会った恩師たちです。「幼少期の頃は、引っ込み思案で人前で話すのが苦手でした。そんな私の背中を押してくれたのが『先生』という存在の人たちだったんです。先生の言葉にはものすごいパワーがあり、人前で話すことが苦手だった私にたくさんの勇気を与えてくれました。この経験が私にとって大きな転機となり、『私も先生になって、子どもたちに勇気を与えられるような人になりたい』と思うようになりました」と当時を振り返りながら話す鈴木さん。

念願である教員になって3年目を迎え、一番大切にしていることは、児童とのコミュニケーションとのこと。「児童との関わり方には正解がなく、一人一人に合わせたコミュニケーションがとても大事になります。そういったことから、児童たちに合った授業づくりはとても大変ですが、時折聞こえてくる『今日の授業、すごく楽しかった』という子どもたちの声に、とてもやりがいを感じています。そして何より、子どもたちの

児童の頑張る気持ちを
精一杯サポートします！



成長を一番近くで見ることができ
るのが本当に幸せです。小学生は
特に成長が早く、昨日できなかった
ことが今日はできたという瞬間
があったり、子どもたちから想像
もしていなかった質問が飛んでき
たりと、毎日が発見と刺激に満ち
ています」と話す鈴木さん。

最後に、今後の目標をお聞きます
と、「私が恩師にしてもらった
ように、今度は私が一人でも多く
の子どもたちにたくさんの勇気を
与えていきたいです。学校生活を
通して、いろんな体験や文化に触
れ、『この町が大好き！』と思っ
てもらえるように、精一杯頑張
ります」と、恩師から受け継いだ熱
い思いを語ってくれました。